

学生剣士が鍛錬の成果

漱玉館杯争奪女子剣道大会



激しく打ち合う選手＝可児市大森奥洞、漱玉館

第3回漱玉館杯争奪中部女子学生選抜剣道大会が30日、伊藤青少年育成奨学会の武道場「漱玉館」(可児市大森奥洞)で開かれ、星城大(愛知県東海市)が連覇した。

同奨学会とバローホールディングス(HD)、多治見市県道連盟の共催。岐阜、愛知、福井県の8大学の女子剣道部員が団体戦に出場し、予選リーグと決勝トーナメントで覇を競った。準優勝は朝日大、3位は愛知大と中京大だった。上位校は幸兵衛窯(同市市之倉町)の陶製メダルが授与

されたほか、選抜チームを組んで特別ゲストと対戦した。剣道六段のタレント渡辺正行さん、全日本女子剣道選手権大会で3回優勝した末永真理選手ら有名剣士と竹刀を交えた。

大会に先立ち、大会長の田代正美バローHD会長兼CEOが「多彩な選手が集まることで価値ある面白い大会になる。日頃の鍛錬の成果を発揮してほしい」とあいさつした。(稲木悠司)